

2020年度 日本福祉心理学会 会務総会 次第(案)

開催期間： 2021年3月10日(水)～3月24日(水)

開催方法： Eメール会議、Googleフォームによる決議

1. 議事

第1号議案	2019年度 事業報告(案)の件	資料1
第2号議案	2019年度 第17回大会収支決算の件	資料2
第3号議案	2019年度 決算(案)の件	資料3
第4号議案	2019年度 会計監査報告の件	資料4
第5号議案	2020年度 予算(案)の件	資料5
第6号議案	2020年度 事業計画(案)の件	資料6
第7号議案	新会員及び退会の件	資料7
第8号議案	日本福祉心理学会第19回大会開催の件	資料8
第9号議案	福祉心理士会	資料9
その他		

2. 報告事項

(1) 2020年度 各委員会事業経過報告

1) 研究・研修推進委員会	(井出 智博 委員長)	資料10
2) 財務委員会	(田中 周子 委員長)	※第3号～第5号議案にて報告済
3) 編集委員会	(大迫 秀樹 委員長)	資料11
4) 福祉心理士資格認定委員会	(富樫 ひとみ 委員長)	資料12
5) 広報委員会	(占部 尊士 委員長)	資料13
6) 学会大会・研修会企画委員会	(米川 和雄 委員長)	資料14

(2) 日本福祉心理学会第18回大会

資料15

(3) その他

2019 年度 日本福祉心理学会 事業報告（案）

1. 2019 年度会務総会および日本福祉心理学会第 17 回大会の開催

期日：2019 年 11 月 23 日（土）～24 日（日）

会場：東京家政大学 板橋キャンパス

大会テーマ ひとの一生を支える福祉心理学

大会委員長 金城 悟 氏（東京家政大学）

2. 会務関係

1) 理事会 東京家政大学 2019 年 11 月 23 日

2) 会務総会 東京家政大学 2019 年 11 月 24 日

3) 常任理事会

第 1 回	於：東京家政大学	2019 年 5 月 30 日（電子会議）
第 2 回	於：東京家政大学	2019 年 8 月 15 日（電子会議）
第 3 回	於：東京家政大学	2019 年 9 月 7 日（電子会議）
第 4 回	於：東京家政大学	2019 年 11 月 23 日
第 5 回	於：東京家政大学	2020 年 3 月 21 日

3. 各種委員会活動

1) 研究・研修推進委員会

- ①第 17 回大会企画セミナー「ひとの一生を支える福祉～授かる命、全うする命」をテーマに開催する。
- ②福祉心理士のためのテキスト作成について、研究・研修推進委員会で具体化し発刊を推進する。
- ③各地区研究活動を支援・推進する。

2) 編集委員会

「福祉心理学研究」第 17 巻第 1 号（令和元年度事業）の論文募集・編集・発行を行う。

- ・投稿論文〆切（9 月 30 日）：投稿 原著 3 編、資料 1 編 実践報告 2 編 査読中
- ・特集論文（学会企画セミナー：人の一生を支える福祉～授かる命、全うする命）
- ・柏女霊峰氏、網野武博氏
- ・発行：令和 2 年 3 月末日予定

3) 財務委員会

- ①会費の安定収入を図ることによって財政基盤を強固なものとするよう努める。また収支管理をより適正に進める。
- ②研究推進等の委員会活動の活性化を財政面から支援する。

4) 広報委員会

- ①学会サーバーの管理運営
- ②学会 web サイトへの記事掲載・更新
- ③学会 web サイトの全面的リニューアル

5) 福祉心理士認定委員会

- ①「2019 年度福祉心理士資格」の申請業務
- ②「2020 年度福祉心理士資格」申請手引きの作成
- ③「福祉心理士」養成教育機関認定の業務
- ④ 福祉心理士会の活動
- ⑤「福祉心理士資格更新」の申請業務
- ⑥「福祉心理士資格更新」申請手引きの作成

6) 学会事務局

- ①事務局業務の I C T 化の推進
- ②会員の入退会管理
- ③常任理事会及び各種委員会と連携した会員獲得の取り組み
- ④学会大会開催・運営の支援
- ⑤常任理事会の開催・運営
- ⑥理事会及び会務総会の開催・運営
- ⑦表彰制度の確立と推進
- ⑧各種委員会への支援
- ⑨他機関（日本心理学諸学会連合等）との連絡・調整
- ⑩その他（学会に関する各種問い合わせへの対応）

2019 日本福祉心理学会 第17回大会(東京家政大学) 決算報告書

第17回大会実行委員会

【収入】

項目		単価	単位	合計
《収入総額》				904,000
大会助成金(学会事務局)				400,000
大会参加費	予約参加費 正会員	4,000	60	240,000
	予約参加費 学生会員	2,000	4	8,000
	予約参加費 団体会員	4,000	2	8,000
	当日参加費 正会員	4,500	16	72,000
	当日参加費 非会員	4,500	9	40,500
懇親会費	懇親会費 事前	5,000	17	85,000
	懇親会費 当日	5,500	9	49,500
大会プログラム販売		1,000	1	1,000

【支出】

項目		単価	単位	合計
《支出総額》				1,595,747
創文印刷出版(株)委託費	大会サポート(参加者管理・大会冊子・通信運搬費等)			675,702
印刷関連費	第1号・第2号郵送費			94,830
	HULIPデザイン委託費(大会冊子表紙・会場配置図)			51,679
	コピー費(大型印刷機使用料含む)			15,000
大会運営費	東京家政大学 施設使用料(光熱費含む)			189,336
	ポスター掲示板・会場案内板レンタル料 ※用務作業費含む			58,000
	文具(名札用紙、ケース、筆記具)			25,000
飲食関係費	11月23日 理事会 昼食(弁当)	800	35	28,000
	11月23日 大会スタッフ・ボランティア昼食(弁当)	600	14	8,400
	11月24日 総会 軽食(サンドイッチ+お茶)+消費税	380	40	15,200
	11月24日 大会スタッフ・ボランティア昼食(弁当)	600	25	15,000
	茶菓(会場・スタッフ・ボランティア用お茶・スナック菓子)			25,000
懇親会費	(財)学校福祉協会 ※追加費(アルコール類、菓子類)含む			170,880
謝礼	講師謝礼金	40,000	2	80,000
	謝礼品(菓子)	3,240	3	9,720
	アルバイト謝礼金(交通費含む)			134,000

収入 904,000円 支出 1,595,747円 収支差額 -691,747円

※支出の内、創文印刷出版委託費及び第1号・2号通信費は学会経費(財務)により支払い

※学会経費支払い分を除いた収支差額は78,785円(収入904,000円-支出825,215円)

日本福祉心理学会 2019年度 決算書（案）

収入	科目	2019年度予算	2019年度決算	比較増減	付記
の部	会費	¥3,000,000	¥2,389,500	-610,500	
	学会誌売上	¥10,000	¥25,000	15,000	
	医中誌論文掲載	¥5,000	¥1,760	-3,240	
	寄付金	¥5,000	¥0	-5,000	
	広告料	¥10,000	¥0	-10,000	
	利息	¥100	¥50	-50	
	前年度繰越金	¥7,891,487	¥7,891,487		
	合 計	¥10,921,587	¥10,307,797		

支出	科目	2019年度予算	2019年度決算	比較増減	付記
の部	学会誌刊行費	¥1,500,000	¥819,695	-680,305	福祉心理学研究16-1,16-2
	名簿作成費	¥100,000	¥407,000	307,000	創文印刷
	選挙関係費	¥100,000	¥87,831	-12,169	創文印刷
	会議費	¥300,000	¥0	-300,000	
	交通費	¥300,000	¥0	-300,000	
	委員会費	¥30,000	¥0	-30,000	
	大会補助費	¥800,000	¥335,023	-464,977	17回大会
	研究推進関係費	¥300,000	¥99,848	-200,152	研修会補助占部先生
	会費	¥40,000	¥15,000	-25,000	日本心理諸学会連合年会費
	広報費	¥300,000	¥824,040	524,040	HPリニューアル・メンテ
	事務局費				
	外部委託費	¥800,000	¥1,018,106	218,106	創文印刷事務代行・大会参加管理
	人件費	¥100,000	¥0	-100,000	
	通信費	¥250,000	¥251,267	1,267	
	備品費	¥10,000	¥0	-10,000	
	消耗品費	¥70,000	¥17,109	-52,891	
	雑費	¥40,000	¥30,776	-9,224	
	予備費	¥5,881,587	¥0	-5,881,587	
	小 計	¥10,921,587	¥3,905,695		
	次年度繰越金		¥6,402,102		
	合 計	¥10,921,587	¥10,307,797		

収入 ¥10,307,797 - 支出 ¥ 3,905,695 = 繰越金 ¥6,402,102

繰越金内訳：郵便口座 ¥5,239,841 みずほ銀行口座 ¥ 1,162,261

監事監査報告書

2020年12月30日

日本福祉心理学会
理事長 片岡 玲子 殿

監 事 宮本 文雄 宮本

監 事 中山 哲志 中山

2019年度における事業年度の監事監査を実施したところ、下記のとおりであったので報告します。

記

1. 理事の業務執行の状況は、適正と認めます。
2. 業務執行の状況は、適正と認めます。
3. 経理の状況は、適正と認めます。
4. その他の状況は、適正と認めます。

以上

日本福祉心理学会 2020年度 予算書（案）

収入の部	科 目	2020年度予算	2019年度予算	2020年度予算－ 2019年度予算	付 記
	会費	¥3,000,000	¥3,000,000	0	2020年度年会費
	学会誌売上	¥10,000	¥10,000	0	
	医中誌論文掲載	¥5,000	¥5,000	0	
	寄付金	¥5,000	¥5,000	0	
	広告料	¥10,000	¥10,000	0	
	利息	¥100	¥100	0	
	前年度繰越金	¥6,402,102	¥7,891,487	-1,489,385	
	合 計	¥9,432,202	¥10,921,587		

支出の部	科 目	2020年度予算	2019年度予算	2020年度予算－ 2019年度予算	付 記
	学会誌刊行費	¥1,500,000	¥1,500,000	0	
	名簿作成費	¥100,000	¥100,000	0	
	選挙関係費	¥100,000	¥100,000	0	
	会議費	¥300,000	¥300,000	0	
	交通費	¥300,000	¥300,000	0	
	委員会費	¥30,000	¥30,000	0	
	大会補助費	¥800,000	¥800,000	0	18回大会補助費
	研究推進関係費	¥300,000	¥300,000	0	
	会費	¥40,000	¥40,000	0	日本心理学諸学会連合会年会費
	広報費	¥300,000	¥300,000	0	
	事務局費				
	外部委託費	¥800,000	¥800,000	0	
	人件費	¥100,000	¥100,000	0	
	通信費	¥350,000	¥250,000	100,000	
	備品費	¥10,000	¥10,000	0	
	消耗品費	¥70,000	¥70,000	0	
	雑費	¥40,000	¥40,000	0	
	予備費	¥4,292,202	¥5,881,587	-1,589,385	
	合 計	¥9,432,202	¥10,921,587		

2020 年度 日本福祉心理学会 事業計画（案）

1. 2020 年度会務総会および日本福祉心理学会第 18 回大会の開催

期日：2020 年 12 月 4 日（金）～6 日（日）

会場：オンライン大会（zoom コントロール基地：東京家政大学板橋キャンパス）

大会テーマ いまこそ福祉心理学と—あらたな心観—

大会委員長 米川 和雄 氏（帝京平成大学）

2. 会務関係

- | | | |
|----------|----------------|------------------------|
| 1) 理事会 | オンライン(zoom) | 2020 年 12 月 4 日 |
| 2) 会務総会 | オンライン(zoom) | 2020 年 12 月 6 日 |
| 3) 常任理事会 | 第 1 回 於：東京家政大学 | 2020 年 9 月 5 日(電子会議) |
| | 第 2 回 於：東京家政大学 | 2020 年 9 月 30 日(電子会議) |
| | 第 3 回 於：東京家政大学 | 2020 年 11 月 26 日(電子会議) |
| | 第 4 回 於：東京家政大学 | 2021 年 3 月 18 日予定 |

3. 各種委員会活動

1) 研究・研修推進委員会

- ・ 第 18 回大会のサポート
- ・ 学会テキスト刊行
- ・ 各地区研究活動の支援・推進

2) 編集委員会

- ・ 福祉心理学研究」第 18 巻第 1 号(令和 2 年度事業)の論文募集・編集・発行
- ・ 投稿論文〆切（9 月 30 日）：投稿 原著 6 編、資料 3 編 展望 1 編 査読中
- ・ 特別寄稿論文 基調講演（山本健明、「コロナ渦においても職員・地域と一丸になって理想の福祉を追及する」）
- ・ 特集論文 学会大会・研修会企画委員会シンポジウム（井出智博、長瀬正子他、「コロナ渦における社会的養護経験者の実情」）
- ・ 会報（事務局） ※発行 令和 3 年 3 月末日予定

3) 財務委員会

- ①会費の安定収入を図ることによって財政基盤を強固なものとするよう努める。また収支管理をより適正に進める。
- ②研究推進等の委員会活動の活性化を財政面から支援する。

4) 広報委員会

- ①学会サーバーの管理運営
- ②学会 web サイトへの記事掲載・更新
- ③SNS 活用の検討
- ④学会大会における広報活動
- ⑤各種委員会と連携した広報活動

5) 学会大会・研修会企画委員会

- ・ 第18回大会のサポート
- ・ 第18回大会企画セミナー「コロナ禍における社会的養護経験者の実情」を大会実行委員会と共同で開催
- ・ 研究・研修推進委員会と連携し、学会テキスト刊行
- ・ 研修活動の企画運営
- ・ 各種委員会と連動したネットワーク形成の推進

6) 福祉心理士認定委員会

- ・ 「2020年度福祉心理士資格」の申請業務
- ・ 「2021年度福祉心理士資格」申請手引きの作成
- ・ 「福祉心理士」養成教育機関認定の業務
- ・ 福祉心理士会の活動
- ・ 「福祉心理士資格更新」の申請業務
- ・ 「福祉心理士資格更新」申請手引きの作成

7) 倫理委員会

- ・ 倫理綱領違反に関する調査・裁定案の答申

8) 学会事務局

- ・ 事務局業務のICT化の推進
- ・ 会員の入退会管理
- ・ 常任理事会及び各種委員会と連携した会員獲得の取り組み
- ・ 学会大会開催・運営の支援
- ・ 常任理事会の開催・運営
- ・ 理事会及び会務総会の開催・運営
- ・ 表彰制度の確立と推進
- ・ 各種委員会への支援
- ・ 他機関（日本心理学諸学会連合等）との連絡・調整
- ・ その他（学会に関する各種問い合わせへの対応）

入退会の承認について

日本福祉心理学会
2020年4月3日(金)

1. 新会員の入会承認について

申込受付期間: 2019年11月22日～2020年3月31日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100921	正会員	春原 淑雄	西九州大学短期大学部 幼児保育学科	入会申込日: 2020/3/17
100922	正会員	名城 卓哉	名古屋市教育委員会 なごや子ども応援委員会	入会申込日: 2020/3/18
100923	学生会員	吉田 かおり	東北福祉大学 通信教育部	入会申込日: 2020/3/28
100924	正会員	大滝 愛子	社会福祉法人道志会 道志会老人ホーム	入会申込日: 2020/3/29

2. 購読会員申請者

申込受付期間: 2019年11月22日～2020年3月31日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
700015	購読会員		静岡福祉大学 付属図書館	20200110 金城先生より 入会申込書を受領

3. 退会申込の承認について

申込受付期間: 2019年11月22日～2020年3月31日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100135	正会員	牧本 啓子	日本経済大学 経済学部	
100261	理事	平野 信喜	宇部フロンティア大学	
100556	正会員	田中 正光	東京総合保険福祉センター江古田の森 障害者支援施設 江古田の森	
100772	正会員	新谷 卓也	不明	
100636	正会員(大学院生)	池田 博章	北海道留辺蘂高等学校	
100466	正会員	大下 いずみ	逗子市教育研究所	
100112	正会員	戸松 玲子	大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科	
100872	正会員(大学院生)	石田 祐貴	筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士後課程 障害科学専攻	
100868	正会員	浅田 絢子	社会福祉法人春風寮	

3. 退会申込の承認について(購読会員)

申込受付期間: 2019年11月22日～2020年3月31日

会員番号	区分	氏名	所属	備考

4. 令和2年3月31日現在の会員数(入会申込者含む) ※宛先不明・退会希望者・発送停止除く

顧問:	5 名
正会員:	361 名
大学院生:	29 名
学生会員:	37 名
購読会員:	12 名
団体会員:	6 団体
合計:	450 名+(発送停止: 97名、宛先不明: 5名) 総合計 552名

入退会の承認について

日本福祉心理学会
2020年4月13日(月)

1. 新会員の入会承認について

申込受付期間:2020年4月13日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100921	正会員	田槇 里奈	明石こどもセンター	

2. 購読会員申請者

申込受付期間:2020年4月13日

会員番号	区分	氏名	所属	備考

3. 退会申込の承認について

申込受付期間:2020年4月13日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100098	正会員	岡元 和正	社会福祉法人 神楽会 特別養護老人ホーム いこいの園	

3. 退会申込の承認について(購読会員)

申込受付期間:2020年4月13日

会員番号	区分	氏名	所属	備考

4. 令和2年3月31日現在の会員数(入会申込者含む) ※宛先不明・退会希望者・発送停止除く

顧問:	5 名
正会員:	364 名
大学院生:	29 名
学生会員:	37 名
購読会員:	12 名
団体会員:	6 団体
合計:	453 名+(発送停止:94名、宛先不明:6名) 総合計 553名

入退会の承認について

日本福祉心理学会
2020年4月15日(水)

1. 新会員の入会承認について

申込受付期間: 2020年4月15日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100921	正会員	田槇 里奈	明石こどもセンター	

2. 購読会員申請者

申込受付期間: 2020年4月15日

会員番号	区分	氏名	所属	備考

3. 退会申込の承認について

申込受付期間: 2020年4月15日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100098	正会員	岡元 和正	社会福祉法人 神楽会 特別養護老人ホーム いこいの園	
600115	正会員	屋間 章	※会員名簿に所属先の記載無し	
100781	正会員	中村 隆	若久緑園	
100725	正会員	小田 良太	社会福祉法人 共栄福祉会 板屋学園	
100482	指名理事	手島 茂樹	東京福祉大学	

3. 退会申込の承認について(購読会員)

申込受付期間: 2020年4月15日

会員番号	区分	氏名	所属	備考

4. 令和2年3月31日現在の会員数(入会申込者含む) ※宛先不明・退会希望者・発送停止除く

顧問:	5 名
正会員:	361 名
大学院生:	29 名
学生会員:	37 名
購読会員:	12 名
団体会員:	6 団体
合計:	450 名 + (発送停止: 94名、宛先不明: 6名) 総合計 550名

入退会の承認について

日本福祉心理学会
2020年9月4日(金)

1. 新会員の入会承認について

申込受付期間: 2020年4月16日～9月4日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100935	正会員(大学院生)	黒子 まゆみ	放送大学大学院文化科学研究科(修士課程)	
100936	正会員	谷向 みつえ	関西福祉科学大学 心理科学部	
100937	正会員	田中 倫代	十和田市立下切田小学校	
100938	正会員	大久保 圭介	アルファ医療福祉専門学校	
100939	学生会員	近藤 恵二	ほたる(相談支援事業所)	
100940	正会員	西村 岳人	こどもL.E.C.センター(コドモレックセンター)	
100941	正会員	蓮田 菜摘	障害者支援施設ユーカリの里	
100942	学生会員	山本 海人	QOL-Japan	
100943	正会員	奥井 菜穂子	大阪樟蔭女子大学児童教育学部	
100944	正会員	森 歩夢	関西福祉大学	
100945	正会員	畠山 健敏	株式会社NTTドコモ プラットフォームビジネス推進部	
100946	学生会員	深山 鷹一	東北福祉大学 通信教育部社会福祉学部総合福祉学科4年	
100947	正会員	石田 泰二	社会福祉法人つむぎ福祉会	
100948	学生会員	和田 美言	帝京平成大学現代ライフ学部	
100949	正会員(大学院生)	佐々木かすみ	筑波大学大学院	

2. 購読会員申請者

申込受付期間: 2020年4月16日～9月4日

会員番号	区分	氏名	所属	備考

3. 退会申込の承認について

申込受付期間: 2020年4月16日～9月4日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
600011	指名理事	恵下 均	会員名簿に記載無し	
100526	正会員	酒井 佐枝子	大阪大学大学院 連合小児発達学研究科	
100723	正会員	萩原 涼子	STEPLAN株式会社 相談緯線事業所そしある	
100137	正会員	篠塚 純	龍ヶ崎市社会福祉協議会	
100181	正会員	加藤 啓	彰栄保育福祉専門学校	
100762	正会員	藤森 旭人	認定NPO法人子どもの心理療法支援会	

3. 退会申込の承認について(購読会員)

申込受付期間: 2020年4月16日～9月4日

会員番号	区分	氏名	所属	備考

4. 令和2年9月4日現在の会員数(入会申込者含む) ※宛先不明・退会希望者・発送停止除く

顧問:	5 名
正会員:	373 名
大学院生:	31 名
学生会員:	40 名
購読会員:	12 名
団体会員:	6 団体
合計:	467 名+(発送停止:94名、宛先不明:6名) 総合計 567名

入退会の承認について

日本福祉心理学会
2020年9月28日(月)

1. 新会員の入会承認について

申込受付期間:2020年9月5日～9月28日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
100950	正会員(大学院生)	吉元 なるよ	沖縄国際大学大学院	
100951	正会員	瀬戸 菜摘	ソフトバンク株式会社	

2. 購読会員申請者

申込受付期間:2020年9月5日～9月28日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
------	----	----	----	----

3. 退会申込の承認について

申込受付期間:2020年9月5日～9月28日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
------	----	----	----	----

3. 退会申込の承認について(購読会員)

申込受付期間:2020年9月5日～9月28日

会員番号	区分	氏名	所属	備考
------	----	----	----	----

4. 令和2年9月28日現在の会員数(入会申込者含む) ※宛先不明・退会希望者・発送停止除く

顧問:	5 名
正会員:	374 名
大学院生:	32 名
学生会員:	40 名
購読会員:	12 名
団体会員:	6 団体
合計:	469 名+(発送停止:94名、宛先不明:6名) 総合計 569名

日本福祉心理学会第19回大会開催の件

2021年度日本福祉心理学会第19回大会(オンライン大会)はつぎを予定しています。

- ・ 開催校：西九州大学短期大学部
佐賀キャンパス 〒840-0806 佐賀県佐賀市神園3-18-15
- ・ 大会準備委員長：占部 尊士

※開催期日は未定です。決定次第、学会ホームページにお知らせを掲載いたします。

2020 年度「福祉心理士会」事業報告書

委員長 富樫ひとみ

【報告】

1. 2019 年度 事業報告

事業名	実施日	実施場所	事業内容
ニューズレター (No. 9) 発行	7 月 31 日	学会 ホームページ	「福祉心理学とは？—会員の実践・研究から (8) —」
第 1 回幹事会開催	9 月 1 日	東京家政大学	・役員選挙について ・全国大会における総会・研修会について ・地区研修会について ・未更新者への連絡について ・資格更新者報告
福祉心理士会幹事選挙	10 月 1 日 ～10 月 12 日	東京家政大学	開票：10 月 19 日
第 2 回幹事会開催	11 月 24 日	東京家政大学	・全国大会（総会）資料 ・新幹事選出
全国大会開催（第 6 回）	11 月 24 日	東京家政大学	・総会 ・研修会
福祉心理士 資格更新事業	1 月～3 月	茨城キリスト教大学	2014 年度資格取得者を対象として更新審査を行った
第 3 回幹事会開催	1 月 25 日	喫茶ルノアール 巣鴨駅前店	・資格更新対象者について ・新幹事担当業務について ・未更新手続き者への対応 ・2019 年度公開研修会・研究会について

2. 2019 年度 会計報告

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越	30,500	次年度繰越	30,500
合 計	30,500	合 計	30,500

【審議】

3. 2020年度 事業計画（案）

① 第7回 全国大会開催（オンライン）

総会 12月6日（日）13：30～14：00

講師 道念 由紀 氏（厚生労働省社会局総務課 社会福祉専門官）

テーマ 「社会福祉士養成課程における教育内容の見直し

—実習内容に焦点を当てて—」

② 幹事会 （2回を予定）

回	日 時	場 所	議 題
1	11月22日	オンライン会議	・全国大会について ・新幹事担当業務について ・資格更新者について ・今後の研修会について
2	2月頃	未定	・資格更新者について ・研修会について

③ 公開研修会開催（予定）

12月5日（土） 15：45～16：45

ワークショップ 「今後の公認心理師における福祉心理士のあり方」

主催 大西 良 氏

12月6日（日） 14：00～14：45

講演テーマ 「社会福祉士養成課程における教育内容の見直し —実習内容に焦点を当てて—」

講師 道念 由紀 氏（厚生労働省社会局総務課 社会福祉専門官）

その他

④ ニュースレター発行（予定）

・No.10：3月頃

4. 2020年度 会計予算（案）

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越	30,500	次年度繰越	30,500
合 計	30,500	合 計	30,500

5. 福祉心理士幹事

(1) 任期：2019年11月～2022年11月

(2) 幹事の担当業務（2019年～2021年）

会 長： 富樫 ひとみ

事務局長： 野村 勝彦

事務局補助：（更新担当）

ニューズレター担当：塩澤 綾子、寺田 翼、（水口 進）

研修：生川 善雄、米川 和雄、（請井 征力）

特別相談役： 宮本 文雄

* 敬称略

(3) 幹事（資格認定員を兼任）

（敬称略）

氏 名		氏 名	
1	網野 武博	12	寺田 翼
2	有村 玲香	13	富樫 ひとみ
3	請井 征力	14	中山 哲志
4	大迫 秀樹	15	生川 善雄
5	大西 良	16	野口 幸弘
6	大原 天青	17	野村 勝彦
7	片岡 玲子	18	宮本 文雄
8	金城 悟	19	米川 和雄
9	塩澤 綾子	20	渡部 純夫
10	杉山 雅宏	21	水口 進（委員長指名）
11	田中 周子		

7. 2019年度 新規会員（報告）

（8名 敬称略）

	氏 名
1	緒方 康介
2	佐藤 詠子
3	武藤 美和子
4	熊谷 かほる
5	宮下 三槻
6	井上 大地
7	柴田 華奈
8	田中 光一

2020 研究・研修推進委員会報告

委員長：井出 智博

＜2019 年度事業報告＞

- ①第 17 回大会 学会企画セミナー「ひとの一生を支える福祉～授かる命、全うする命」をテーマに開催する（本年度は、シンポジウムではなくセミナーとして実施する）。
- ②「福祉心理学」のテキストについて、委員会と福祉心理士会で検討し、作成された具体的な内容（目次案、執筆者案）に基づき、執筆依頼を行った。2020 年度に、明石書店より刊行予定である。
- ③各地区研究活動を支援・推進する。

＜2020 年度事業計画（案）＞

- ①第 18 回大会におけるシンポジウム・ゼミナーを開催する。
- ②「福祉心理学」のテキストについて継続して各種委員会と連携し、刊行をめざす。
- ③各地区研究活動を支援・推進する。

＜2021 年度事業計画（案）＞

- 1) 研究・研修推進委員会
 - ①作成された福祉心理学テキストをもとにした研修機会（大会時のワークショップや教育講演など）を検討する。
 - ②学会員の研究活動を促進するための制度等（大会時の発表に対する賞，奨励賞・学会賞，研究助成等）の整備について検討する。またその遂行のために他学会の先行事例の整理や，会員へのアンケート調査の実施について検討する。
 - ③各地区研究活動を支援・推進する。

2020 編集委員会報告

編集委員長 大迫秀樹

1. 編集委員会 (第7期 : 2019年7月~2021年6月)

○編集委員長 大迫秀樹

○副編集委員長 野澤純子

○編集委員 (順不同)

網野武博 有村玲香 石田祥代 井出智博 今中博章 大塚 玲 大原天青 小畑文也
柿澤敏文 倉光晃子 佐藤至英 杉山雅宏 園山繁樹 田中周子 鄭 仁豪 中野泰志
中村貴志 中山哲志 生川善雄 野口幸弘 野呂文行 蓑毛良助 山崎康一郎 渡部純夫

○英文校閲 Benjamin Xuyang LIM (就任予定)

○編集事務局 創文印刷工業(株)内 「福祉心理学研究」編集事務局 (担当 : 石川)
(〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16)

2. 令和元年度事業報告

「福祉心理学研究」第17巻第1号(令和元年度事業)を発行した。

令和2年3月31日発行 (450部)

原著2編

会報(事務局)

3. 令和2年度事業計画

「福祉心理学研究」第18巻第1号(令和2年度事業)の論文募集・編集・発行を行う。

投稿論文〆切(令和2年9月30日)

投稿 原著6編、資料3編 実践報告2編 展望1編 査読中

特別寄稿論文 基調講演(山本健明先生、「コロナ渦においても職員・地域と一丸に
なって理想の福祉を追及する」)

特集論文 学会大会・研修会企画委員会シンポジウム(井出智博先生、長瀬正子先生他、
「コロナ渦における社会的養護経験者の実情」)

会報(事務局)

発行 令和3年3月末日予定

4. その他

特になし

2020 年度「福祉心理士資格認定委員会」事業報告書

委員長 富樫ひとみ

【報告】

1. 2019 年度 事業報告

事業名	実施日	実施場所	事業内容
福祉心理士 新規会員募集	4 月～6 月	学会 ホームページ	募集案内掲載
第 1 回委員会開催	9 月 1 日	東京家政大学	・新規会員の承認について
学会 全国大会	11 月 24 日	東京家政大学	・事業、会計等報告
第 2 回委員会開催	11 月 24 日	東京家政大学	・新役員の確認
第 3 回委員会開催	1 月 25 日	喫茶ルノアール 巣鴨駅前店	・委員及び担当業務の決定（随時）

2 2019 年度 会計報告

(2020 年 8 月 31 日現在)

項目	金額
I 収入の部	
1. 2018 年度繰越金	3,282,486 円
2. 資格審査料	100,000 円 (2 万円×5 名)
3. 資格認定料	90,000 円 (1 万円×9 名)
4. 更新審査料	30,000 円 (1 万円×3 名)
5. 養成教育機関による申請	90,000 円
合計	3,592,486 円
II 支出の部	
1. 印刷代	43,550 円
2. 手数料	880 円
3. 郵送代等	43,844 円
4. 会議費	2,280 円
5. 文具等	5,717 円
6. アルバイト代	30,902 円
合計	127,173 円
III 収支残高	3,465,313 円

2020 年 11 月 22 日

以上相違ありません。

会計係 : 宮本文雄
 杉山雅宏
 富樫ひとみ
 田中周子

【審議】

3. 2020 年度 事業計画 (案)

事業名	実施日	実施場所	事業内容
福祉心理士 新規 会員募集	11 月	学会ホームページ	募集案内掲載
第 1 回委員会開催	11 月 22 日	リモート会議	・ 2019 年度事業・会計報告について ・ 2020 年度事業計画・会計報告案について ・ 新委員及び委員の担当業務について ・ 新規会員応募の途中経過について
学会 全国大会	12 月 8 日	リモート会議	・ 事業、会計等報告
第 2 回委員会開催	2 月頃	未定	・ 2021 年度新規募集について

4. 2020 年度 会計予算 (案)

項目	金額
I 収入の部	
1. 2018 年度繰越金	3,465,313 円
2. 資格審査料	100,000 円 (2 万円×5 名)
3. 資格認定料	90,000 円 (1 万円×9 名)
4. 更新審査料	50,000 円 (1 万円×5 名)
5. 養成教育機関による申請	90,000 円
合計	3,795,313 円
II 支出の部	
1. 印刷代	43,550 円
2. 手数料	880 円
3. 郵送代等	43,844 円
4. 会議費	22,000 円
5. 文具等	5,717 円
6. アルバイト代	30,902 円
合計	146,893 円
III 収支残高	3,648,420 円

5. 新資格認定委員 (案)

(1) 任期 : 2019 年 11 月～2022 年 11 月

(2) 委員 (福祉心理士 幹事を兼任)

(敬称略)

氏 名	氏 名
1 網野 武博	12 寺田 翼
2 有村 玲香	13 富樫 ひとみ
3 請井 征力	14 中山 哲志
4 大迫 秀樹	15 生川 善雄
5 大西 良	16 野口 幸弘
6 大原 天青	17 野村 勝彦
7 片岡 玲子	18 宮本 文雄
8 金城 悟	19 米川 和雄

9	塩澤 綾子	20	渡部 純夫
10	杉山 雅宏	21	水口 進 (委員長指名)
11	田中 周子		

(3) 資格認定委員会役員

資格認定委員会委員長： 富樫ひとみ

資格認定委員会事務局長： 野村勝彦

資格認定委員会事務局長補助： 渡部 純夫 (名簿担当)

資格認定委員会会計： 有村 玲香

福祉心理士養成教育機関制度事務局長： 大西 良

特別相談役： 宮本 文雄

* 敬称略

(4) 業務担当

① 資格の認定

野村勝彦、渡部 純夫、富樫ひとみ

② 養成教育機関制度事務局

大西 良、野村勝彦、渡部 純夫、富樫ひとみ

③ 会計

有村 玲香、野村勝彦、富樫ひとみ

④ 資格要件の検討

野口 幸弘、大迫 秀樹、野村勝彦、富樫ひとみ

6. 福祉心理士資格認定委員会規定

別紙

7. 2019 年度 新規会員 (報告)

(8名 敬称略)

	氏 名
1	緒方 康介
2	佐藤 詠子
3	武藤 美和子
4	熊谷 かほる
5	宮下 三槻
6	井上 大地
7	柴田 華奈
8	田中 光一

日本福祉心理学会 日本福祉心理士資格認定委員会 規定（案）

2020 年 月 日 制定（予定）

第 1 条（目的）

本会は、日本福祉心理学会会則第 4 条 5 号に規定する日本福祉心理学会の業務を遂行することを目的とする。

第 2 条（名称）

本会は、日本福祉心理学会日本福祉心理士資格認定委員会と称する。

第 3 条（所在地）

本会の事務局は、栃木県宇都宮市竹下町 9 0 8 番地 作新学院大学人間文化学部発達教育学科 野村勝彦研究室 に置く。

第 4 条（委員）

本会の会員は、日本福祉心理学会会則第 11 条に示す役員規定に基づき選出された日本福祉心理士資格認定委員会委員とする。

第 5 条（役員）

本会に次の役員を置く。

代表者（日本福祉心理士資格認定委員会委員長） 1 名

事務局長（日本福祉心理士資格認定委員会事務局長） 1 名

会計（日本福祉心理士資格認定委員会会計） 1 名

第 6 条（役員の任期）

役員の任期は、日本福祉心理学会会則第 11 条に規定する役員の改選年度にあたる会務総会の日から 3 年とし、再任を妨げないものとする。

第 7 条（代表者）

本会の代表者は、日本福祉心理学会日本福祉心理士資格認定委員会委員長として、会を代表し、運営する。事務局長は、日本福祉心理学会日本福祉心理士資格認定委員会事務局長として、代表を補佐し、代表の欠員の時には代表の職務を遂行する。

第 8 条 (運営)

本会は、第 1 条の目的を達成するため、日本福祉心理学会日本福祉心理士資格認定委員会の重要事項について審議し、会計業務に必要な活動を行う。

第 9 条 (規定改正)

本規定は、日本福祉心理学会常任理事会の審議を経て、常任理事の 2/3 以上の賛同をもって改正することができる。

第 10 条 (設立年月日)

2020 年 11 月 26 日

附則

1. 本会の役員は、次の会員とする

代表 (日本福祉心理学会日本福祉心理士資格認定委員会委員長)

富樫 ひとみ

事務局長 (日本福祉心理学会日本福祉心理士資格認定委員会事務局長)

野村 勝彦

会計 有村 玲香

所在地 〒891-0197 鹿児島県鹿児島市坂之上 8-34-1
鹿児島国際大学 福祉社会学部社会福祉学科 有村玲香研究室
連絡先 鹿児島国際大学 (代表) 099-261-3211

この規定は、2019 年 11 月 26 日から適用する。

2020 「広報委員会」 報告

委員長 占部 尊士

①学会サーバーの管理運営（委託業者との調整、研究大会のオンライン化サポートなど）

②学会 web サイトへの記事掲載・更新

（学会誌・機関紙関連、研修案内、福祉心理士関連資料など）

③学会 web サイトの修正（入会案内、組織図・規約などの改定など）

④Zoom ミーティングへの対応（マニュアル作成など）

⑤今後の取り組みの検討（SNS の活用など）

2020 「学会大会・研修会企画委員会」報告

委員長 米川和雄

<委員会活動>

(1)2020 年 8 月 28 日に第 1 回委員会を実施し以下のことが確認された。

1) 委員会の目標

- ①福祉心理学の基盤性
 - ②福祉心理学を先導する先端性
 - ③福祉心理学に関わる学際性
 - ④福祉心理学への研究や実務における文化の促進性
 - ⑤この他、上記に関連する事項
- ※委員の独自性、斬新性、発想性を可能な範囲で具現化する
※定例的に会合を持つ。年に一回以上活動に関与する。

2) 具体的方向性

具体的方向性として毎年の学会をサポートすること、この他以下についても検討、または提案をしていくことが確認された。①各委員会と連動したネットワーク形成、②会員同士の情報共有の場形成、③各委員の個々の意見における研修活動等への奨励、④学会や他委員会への提案など、以上による恒常的な学会活動への貢献など。

上記に関わり、ネットワーク形成においては、メーリングリスト作成の提案がなされた。

なお 2020 年度オンライン学会大会での関与は、本委員会と準備委員会企画として『コロナ禍における社会的養護経験者の実情』（仮題）が出された。

(2) 2020 年 9 月 26 日に第 2 回委員会を実施し以下のことが確認された。

1) 大会準備費用の増額などの提案

近年の大会運営の負担等を鑑みて、今後、大会運営の外部委託を進める必要があると意見があがり、その場合、どの程度の予算が必要になるかについては喫緊の課題として検討が必要だとの意見が出された。また、今後、安定した学会、大会を運営していくためにも、事務局長等、限定された個人の負担が多くなっている大会運営の在り方について検討の必要があるとの意見も出された。

2) 年次大会研究発表表彰の検討提案

年次大会の研究発表の表彰について、常任理事会より本委員会で検討するよう意見を受けて話し合った。その結果、まず前提とする事項を常任理事会で検討してからの方がよいとの意見より以下についての確認事項が出された。①研究者を表彰するか、研究を表彰するか、②表彰本数はどれくらいにするか、カテゴリーはどうするか（例えば、児童福祉分野、障害福祉分野、高齢者福祉分野、女性・生活保護分野など）、③カテゴリーについては、別途、継続発表賞（継続的な発表）や奨励賞（年齢制限を持った若手の研究）はどうか、④学会本体の学会論文優秀賞などの検討はなくてよい（まず年次大会か）。⑤審査の公平性はどうするか（毎年委員会から 2 名ずつ各カテゴリーを担当する委員を選出し、抄録から選定し、実際の発表確認をする等）、⑥通知等の発行元は学会大会長か、学会理事長か、⑦発表時期は学会終わりか次期学会かである。但し、論文優秀賞は、原著論文の少なさから論文の提出が多くなっていつから出ないと厳しいと編集委員より意見、また実施においては毎年の予算が必要であるとの意見、また発表は単年度毎により委員会負担を継続させない方がよいのではとの意見が出されました。

常任理事会からの確認を経てさらに表彰制度を検討していくこととされた。

＜学会テキスト発行について＞

(1) 2019 年度報告

第 17 回大会総会等で決定された「福祉心理学テキスト」案を元に別紙の内容（現在、一部変更あり）にて明石書店での採択となり出版の方向へと至った。

(2) 2020 年度報告

1) 進捗等

2020 年 12 月中旬 すべての執筆者の原稿が揃った。ページ数の大幅な増加により執筆事項の表化への依頼を含み、初稿へと進んだ。監修となる研究・研修推進委員会・福祉心理士会にも確認を行い、今年度中に再校への確認を行い、5 月～9 月にかけて出版へと進む予定である。カバーなどは編集・監修で決めさせていただく予定である。

2) 今後の方向性

出版に伴った研修会、学会大会内研修等の企画を予定（福祉心理士会及び学会大会・研修会企画委員会の共催等を予定したい）

目次	ページ数／担当	所属 名前
はじめに	2 頁程度	
第1章 福祉心理学原理	6 頁程度	社会福祉法人吾子の里 理事長 十島雅蔵氏
1. 福祉心理学の理念、目標、役割		学会理事長 網野武博氏
2. 福祉心理学の貢献		福岡女学院大学教授 大迫秀樹氏
3. 福祉マインド		品川介護専門学校校長 片岡玲子氏
4. 福祉マインドを実践する心理		東日本国際大学教授 中山哲志氏
5. 社会福祉について	4 頁程度	筑波大学人間系（障害科学域）教授 鄭 仁豪 氏
6. 心理学について		日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 助教 大部令絵（オオブ ノリエ）氏
7. 福祉心理学とは		筑波大学大学院人間総合科学研究科 障害科学専攻 博士後期課程 三枝里江（サイグサ サトエ）氏
8. 福祉心理学の実践における特徴		前東日本国際大学教授 宮本文雄氏
9. 福祉領域と制度	2 頁程度	茨城キリスト教大学教授 富樫ひとみ氏
10. 福祉領域と心理支援		白梅学園大学 堀江まゆみ氏
11. 隣接領域		児童自立支援施設 内海新祐氏
第2章 福祉心理学会の歩み	4 頁程度	駿遠学園
1. 福祉心理学探究の意義		
2. 福祉心理学会の目的と展望、沿革		
3. 福祉心理学研究とは	8 頁程度	
4. 研究方法概論		
5. 近年の研究動向		
第3章 福祉心理士会と福祉心理士	6.5 頁程度	
1. 福祉心理士会		
1) 福祉心理士会の歴史		
2) 福祉心理士養成課程		
3) 福祉心理士会の課題と展望		

2. 福祉心理士 3. 福祉領域で想定される心理士 4. 福祉専門の公認心理士を見据えて 1)公認心理師とはなにか 2)公認心理師養成における福祉心理学の立ち位置 5. 心理学的支援の倫理 ※個人情報保護の他、各種マナーに関する事項 第4章 福祉心理学的支援の基盤Ⅰ 1. 実践への主眼 2. 意思決定支援 3. 危機支援：津久井やまゆり園の事例を通して 3. 自立支援 4. 施設における社会的自立支援 5. 発達理論 1)発達とは何か 2) 発達心理学的理論 ※愛着含む ※参考：エリクソンの発達段階等3つ程度の発達理論を表などを用い比較的に紹介 ※キャリア発達の理論参考：スーパーのキャリアレインボー 第5章 福祉心理学的支援の基盤Ⅱ 1. 生物心理社会モデル 2. 心理検査の概要 3. 心理療法の概要 (1) 概論 ※行動療法については次項目に掲載いたします。 4. 行動療法 (1) 行動療法の原理 (2) 応用行動分析 (3) 認知行動療法の対象と方法 1. 児童福祉における課題と法制度 (1) 子どもの定義 (2) 社会的養護 1) 社会的養護とは 2) 措置と契約 (3) 児童福祉における課題 (4) 児童福祉に関わる法制度 ※虐待防止法は必ず触れてください。 2. 乳児院・児童養護施設の心理学的支援 (1) 乳児院・児童養護施設の特徴	5.5 頁程度 8 頁程度 2 頁 2 頁 8～9 頁程度 5 頁程度 5～8 頁程度 8 頁程度 8 頁程度 8 頁程度 11 頁程度	藁科知行氏 米川和雄 東北福祉大学 渡部純夫氏 福岡教育大学 倉光晃子氏 立正大学 田中周子氏 東京大学 遠藤利彦氏 静岡大学 井出智弘氏 東京成徳大学名誉教授 深谷昌志氏 横浜市西部児童相談所 大谷洋子氏 国立武蔵野学院 大原天晴氏 自立援助ホーム施設長 野中勝治氏 金城 悟 氏 鹿児島国際大学 有村玲香氏 鹿児島国際大学 養毛良助氏 作新学院大学 野村勝彦氏 北海道済生会西小樽病院みどりの里 橋下 悟氏 東京福祉大学 村本浄司氏 西九州大学短期大学部准教授 占部尊士氏 筑紫女学園大学准教授 大西 良氏 西九州大学短期大学部講師 春原 淑雄氏 徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授 上岡 義典氏 大西 良氏 聖カタリナ大学准教授 村岡 則子氏 大阪大学 佐藤真一氏 大阪大学 大庭輝氏 東京医療センター 本田美和子氏 埼玉学園大学
---	---	--

1) 乳児院・児童養護施設 2) 施設職員と心理職の役割 (2) 乳児・児童の心理的特徴 (3) 乳児・児童の心理学的アセスメント・主な心理検査 (4) 心理学的支援の基本 (5) 心理学的支援の実践 (6) 乳児・児童に関する福祉心理学的知見			杉山雅宏氏 西南学院大学 野口幸弘氏 帝京平成大学 入江多津子氏 国立教育政策研究所 宮古紀宏氏
(5) 里子における心理学的支援 (ア) 里親に関連する法制度 (イ) 里子の心理的特徴 (ウ) 心理学的支援の基本 (エ) 里子支援に関する福祉心理学的知見	3 頁程度		
4. 児童相談所一時保護所の心理学的支援 1) 施設の特徴(心理職と機関の制度上の位置づけ)、支援対象と関連する法制度 2) 児童相談所一時保護所の心理職の目的と役割 3) 契約と措置 4) 児童の心理的特徴 5) 心理社会的課題含む 6) 乳児・児童の心理学的アセスメント・主な心理検査 7) 心理学的支援の基本 8) 乳児・児童に関する福祉心理学的知見	7 頁～9 頁		
5. 児童自立支援施設・自立援助ホームの心理学的支援 1) 施設の特徴(心理職と機関の制度上の位置づけ)、支援対象と関連する法制度 2) 心理職の目的と役割 3) 児童の心理的特徴 ※心理社会的課題含む 4) 青年の心理学的アセスメント・主な心理検査 5) 心理学的支援の基本 ①児童自立支援施設の実践	6.5 頁		
6) 自立援助ホームの実践	1.5 頁程度		
6. 保育所の心理学的支援 1) 保育所(制度上の位置づけ)、支援対象と関連する法制度 2) 心理職の目的と役割 3) 乳幼児の心理的特徴 4) 乳幼児の心理学的アセスメント・主な心理検査 5) 心理学的支援の基本 6) 保育所に関する福祉心理学的知見	8 頁～9 頁		

7. 障害児福祉領域の心理学的支援	6.5 頁程度		
1) 知的障害児の定義			
2) 心理職が勤める機関（制度上の位置づけ）、支援対象と関連する法制度			
3) 心理職の目的と役割			
4) 知的障害児の心理的特徴 ※自閉症スペクトラム ※心理社会的課題含む			
5) 知的障害児の心理学的アセスメント・主な心理検査			
6) 心理学的支援の基本			
7)療育としての心理学的支援	1.5 頁程度		
8) インクルーシブ教育における実際	1.5 頁程度		
第 7 章 障害者福祉領域の心理学的支援	9～12.5 頁程度		
1. 障害者における課題と法制度			
2. 身体障害児（者）福祉領域の心理学的支援	6.5 頁		
(1) 身体障害児（者）・重症心身障害の定義			
(2) 心理職が勤める機関（制度上の位置づけ）、支援対象と関連する法制度			
(3) 心理職の目的と役割			
(4) 身体障害児の心理的特徴 ※心理社会的課題含む			
(5) 身体障害児の心理学的アセスメント・主な心理検査			
(6) 心理学的支援の基本			
(7) 身体障害児に関する福祉心理学的知見			
3. 知的障害者福祉領域の心理学的支援	11 頁程度		
1) 知的障害者における課題と法制度			
2) 知的障害者が関わる施設と特性			
3) 知的障害者の心理的特徴 ※心理社会的課題含む			
4) 知的障害者の心理学的アセスメント			
5) 知的障害者に関わる心理学的支援の基本			
6) 知的障害者に関わる心理学的知見			
4. 精神保健福祉領域の心理学的支援	4 頁		
1) 精神障害者における課題と法制度			
2) 精神障害者が関わる施設と特性			
3) 精神障害者の心理的特徴 ※心理社会的課題含む	2 頁		
4) 精神障害者の心理学的アセスメント	2 頁		

報告6)：学会大会・研修会企画委員会

5) 精神障害者の心理学的支援の基本	2 頁		
6) 精神障害者に関する福祉心理学的知見	2 頁		
7) 就労支援	2.5 頁		
第8章 高齢者福祉領域の心理学的支援			
1. 高齢者における課題と法制度 2. 高齢者が関わる施設と特性 3. 高齢者の心理発達的特徴 ※ 心理社会的課題含む 4. 高齢者の心理学的アセスメント 5. 高齢者の心理学的支援の基本	9 頁程度		
6. 認知症支援の実際と知見	3～5 頁		
第9章 地域福祉領域の心理学的支援			
1. 地域福祉における課題と法制度 2. 地域福祉に関わる施設と特性 3. 地域福祉課題に関わる人々のそれぞれの心理的特徴 ※心理社会的課題含む 3. 児童福祉における課題と法制度 (1) 子どもの定義 (2) 社会的養護 1) 社会的養護とは 2) 措置と契約 (3) 児童福祉における課題 (4) 児童福祉に関わる法制度 ※虐待防止法は必ず触れてください。 (1) 乳児院・児童養護施設の特徴 3) 乳児院・児童養護施設 4) 施設職員と心理職の役割 (2) 乳児・児童の心理的特徴 (3) 乳児・児童の心理学的アセスメント・主な心理検査 (4) 心理学的支援の基本 (5) 心理学的支援の実際 (6) 乳児・児童に関する福祉心理学的知見	8 頁程度		
4. 地域福祉課題に関わる人々の心理学的アセスメント 5. 地域福祉課題に関わる人々の心理学的支援の基本	3 頁程度		
6. 地域連携を踏まえた福祉心理学的実践 (1)実践例①強度行動障害者支援の取り組み ※かーむ等の実践をご紹介しますか。	5 頁程度		

(2) 実践例②性的問題行動のある知的・発達障害者向け問題修復プログラム	5～6.5 頁程度		
(3) 実践例③更生支援	3～5 頁		
5. 医療現場における心理学的支援 (1) 医療における課題と法制度 (2) 病院の特性 (3) 患者の心理的特徴 ※ 心理社会的課題含む (4) 患者の心理学的アセスメント (5) 患者の心理学的支援の基本 (6) 患者支援に関わる心理学的知見	5～6.5 ページ程度		
第 10 章 関係行政論・機関論 1. 三権分立 ※国会・内閣 ※法律⇒政令⇒省令⇒事業 2. 関係行政と機関 1)福祉事務所等 2)教育委員会等 3)警察・検察 4)矯正施設等	2.5 頁程度 2.5 頁程度		
3. 裁判所と機関 ※保護命令申立	2.5 頁		

2020 「日本福祉心理学会第18回大会報告

第18回大会大会委員長 米川和雄

(1)年次大会

2020年12月4日～6日の3日間において第18回学会大会が実施された。学会大会内容は別紙のとおりである。協賛として出版社3社が参加した。参加者は12/4 8名、12/5 82名、12/6 78名だった。口頭発表5名、ポスター発表21名だった。

(2)コロナ禍における対応について

今大会ではコロナ禍を受けてオンラインでの実施となった。そのため慣例的にお手伝いをする学生が抜けることで急遽、学会大会研修会企画委員会の支援、並びにオンラインの専門職や外国側からの協力者を得て行われた。また一部リアル会場を断念しオンライン環境の整った東京家政大学での実施となった。

(3)オンライン学会実施における留意事項や配慮について

オンライン学会大会を実施するにあたって、各準備委員会や大会委員会の担当と役割は以下のメモとなるが、少人数での実施にはあまりにも大会委員長の負担が大きく、実施金額だけでなく、開催校における負担軽減の理解やメリットへの寄与やそもそもの外部委託などを検討していくことも一つと考える。

【メモ】大会委員長は10以上の担当が課せられるため実行委員会の実働部隊があると助かる。

＜学会大会実施のための係＞

1. 学会大会企画：何をコンセプトにし、誰を呼び、いくらお金をかけるか、交渉等含む

※講演交渉ができる方がもう一人いるだけで助かりまくる

2. 冊子作製：大会用の冊子、企画・ホームページ等と連動する

※小まめに訂正できる力量が求められる、感情コントロールができない人・できてもきつい人は向いてない

3. 広報：実際に職能団体等への後方依頼をした経験のある方、職能団体等地域・全国6団体以上無料のサイト登録及び有料のチラシ配布

※団体の掲載依頼等に時間がかかり半年前から構想し4か月以上前から各団体へ打診して確認しておく必要がある。

※オンラインでの告知は媒体により3か月前から掲示がよい。※「こくちーず」など

※都内実施において広報費は20万円は最低ほしい。

4. ホームページ作成：大会のホームページ作成で、迅速に動ける方（学会本体は創文印刷だが対応遅い；学会大会用のホームページ）

※参加者のみにお知らせする形態がお勧め

※自作できる場合3万円程度、自作できない場合、20万円～40万円掛かる

※小まめに訂正できる力量が求められる、感情コントロールができない人は向いてない

※ZOOM招待URLについてはZOOM担当にお願いするがホームページの全体統括は必要

報告(2)：日本福祉心理学会第18回大会

5. フェイスブック作成：大会の進捗を紹介し、参加者を呼び込む 3000 名に知らせて来るのは 10～30 名程度
※小まめに週 1～2 回の情報提供ができるように情報コントロールをしフォローされている方々を楽しませる工夫
6. 会計：大会にかかわる予算と決算について報告する。最初だけでなく、途中でも予算についてどの程度残るかを示唆できることが求められる
※適度なセンスが求められるため大会経験者がいると助かるが令和の時代にできることとできないこと（金額だけの高い安いではなく大会の質との兼ね合い）を理解する人だと助かる。
※領収書や講師料のやり取りを別で担当一人いるとより助かる。
※外国人への講演料は、マネーロンダリングの関係で通帳の出資先の通帳コピーと出勤部分の確認が必要となる。学会大会そのものが法人格がないため、中央的な銀行へ何度も出向く必要がある。講師には振込金額分を入れ込んだ講師料設定が望ましい。
7. 会場セッティング：①ZOOM 中央コントロール室、②受付事務局室、③リアル会場登壇者室
※上記 3 つの教室を保持しないと双方に崩れるため必須、
※光回線は必須； 90Mbps を保持、講演者事前受付用の回線のみワイヤレスで 30Mbps でもよい。
※コロナ禍を踏まえた対応（ソーシャルディスタンスとアルコール）
※担当者への昼食や夕食の準備（人員が少ないと購入している暇がない）
※総合司会が ZOOM を利用できない環境の場をつくらない：登壇者が来た場合、総合司会のいる中央コントロール室で対応すると中央コントロールができなくなる。また③での対応には委員の張り付きが必要となるため人員が割かれることを念頭に置く必要がある。
※中央コントロール室は、スペックの高いパソコンの保持（CPU、メモリ）及びディスプレイ 3 画面、パソコンダウンを踏まえた予備パソコンの準備、付属のマイク及びカメラはシャットダウンが起きやすいため、コントロールできるマイク等を準備しておくこと。設備費を学会側が負担してもいいほど裏での費用が掛かる。
8. 備品購入：リアル会場の設定や必要な備品を準備できる
※オンラインの場合、有線・無線アカウント取得（アカウント有無確認；オンライン回線速度確認）、携帯・ポケット Wifi 準備等
※100 名規模で携帯 2 台、Wifi 1 台（3 回線）であったが、携帯は 100 名増えるごとに 1 台あってもよい。Wifi は ZOOM 中央コントロール室、②受付事務局室には 1 台（1 台 3 回線）保持すべき。
※80 名で 5%強程度の方で 10 件程度の問い合わせ
※単純な準備でなく、安く対応できる環境や器具を検討できる力量があると助かる。
9. ZOOM 対応：ZOOM 活用方法やオンライン研修等の経験のある者がいると安心感が増す。次長以上は事前の有料研修の参加必須
※受付における ZOOM 活用困難への対応などの助言ができる者がいると助かる。
※80 名で 5%強程度の電話連絡
※ホスト 3 回線のやり取り、参加者へのホスト移行・パネリスト移行等、指示なくともできる能力があると助かる。
※ホームページにおける ZOOM URL については担当すべき。
※ホスト（パスワード等）、招待 URL の管理ができる人が必要 ※ホームページとの連動
※事前の ZOOM ミーティングルームの設計担当がいるとタイムラインとの兼ね合いからスムーズになる。
10. タイムライン作成：全体の動き（各担当者の動き）を時間ごとに示す。何度も書き直しが生じるため、終盤は、委員全体に臨機応変な動きが求められる。つまりどんなにタイムラインを作ってもそれ通りにならない状況を捉えた動きをまず委員会が理解する必要がある。
※小まめに訂正できる力量が求められる、感情コントロールができない人・できてもきつい人は向いてない
11. 受付対応：参加申請に対する対応、研究発表者に対する対応、講演者に対する対応、これらのメールのやり取り
※海外からの講演者の場合、一つの国でも時差があることから現地のサポーターのいることが望ましい

報告(2)：日本福祉心理学会第18回大会

12. 全体フォロー対応：担当を一つ持ちながらも以上の状況や状態の進捗管理を確認し全体のフォローができる者がいると本当に助かる。ZOOM 操作が理解できればなお可。
- ※委員長は指揮と中央的な事項をするため小回りが利かないことも。逆に小回りを求めるため余裕なく対応が滞ることがある。
- ※みんな「忙しく」大会運営に力を割けないと委員長一人、または次長と二人で回すことになる
- コンサルタントに全体運営を依頼すると 100～150 万円程度は多く掛かるが委員の結集が難しい場合は中央を回すためにも必要
- 上記、状況は様々な状況により起こりうるため、短時間決戦は避けた方がよい。それでも回せない可能性が高いため、リスクを踏まえた計画的運用が必要。

<学会大会当日実施のための係>

- ①総合司会（進行）
- ②各催事の司会 ※研究発表では総合司会を避け座長 2 名がベスト
- ③学会本体運用担当（総会・理事会・福祉心理学会総会等）
- ④学会大会メイン会場担当
- ⑤講演者事前ミーティングルーム担当

※メイン会場のシャットダウン時は各自で運用いただく形式を事前確認
- ⑥リアル会場での講演者担当・登壇者参加確認担当

※領収書などの確認・管理
- ⑦参加者受付担当 4 名以上（ZOOM 専門対応者 2 名含）
- ⑧タイムキーパー担当

※総合司会以外で各室 1 名以上必要、受付担当での代替の場合、受付担当 4 名は必須
- ⑨各会場への情報伝達担当各会場 1 名（リアルでの動き含む）

※他の担当との兼務はできるだけ避けた方がよい。チーム力にもよるが緊急時は難しい点が出る。
- ⑩ホームページにて急遽連絡対応

※パスワード解除、招待 URL 紹介、わかりやすいページ誘導
- ⑪会計担当・飲食等担当

※領収書のやり取りと飲食等の注文配布

※総会時での学会大会の会計報告資料作成

	12月4日(金)	12月6日(日)
9:30 (17:30)	<u>ZOOM ミーティング①(事務局)</u> 17:30~19:30 理事会 18:30 受付開始 <u>ZOOM ミーティング②(実行委員会)</u> 19:00~21:00 「初心者のためのZOOMの使い方」 米川和雄氏(オンラインサロン:スクールソーシャルワーカーズ・ウェルビーイング・プロジェクト主宰)	9:30 受付開始 10:00~10:40 【実行委員会企画】 「アメリカにおける心理的支援等の最前線」 <u>招待講演Ⅰ(通訳付)</u> Where and How to Focus: Advocating for the Needs of School Social Workers. (スクールソーシャルワーカーを擁護する方向性) Robert Lucio氏(アメリカSSW協会理事)
11:00	12月5日(土) <u>ZOOM ミーティング(事務局)</u> 11:00~12:00 各委員会ミーティング	11:10~11:50 【実行委員会企画】 <u>招待講演Ⅱ(通訳付)</u> Needs for Psychology Training to Design Effective and Humane Policies. (心理学を政策に活かすトレーニングの必要性) Judith Glassgold氏(元アメリカ心理学会 アソシエイトエグゼクティブディレクター)
12:00	12:00 受付開始 ※必ず参加者名に 受付番号 + お名前 + 所属先 を記載ください。 12:30~12:40 開会あいさつ 総合司会・実行委員会委員長 学会理事長	12:00~12:20 【実行委員会企画】 ランチョンセミナー 「バーンアウト防止のためのセルフケア—身体を使ったマインドフルネス—」 Hiromi Willingham氏 (ジョージア州公認臨床心理セラピスト)
13:00	12:40~13:20 【実行委員会企画】 基調講演「コロナ禍においても職員・地域と一丸になって理想の福祉を追求する」 山本健明氏 (秋川流域生活支援ネットワーク副理事長)	<u>ZOOM ミーティング(事務局)</u> 総会 12:30~13:30 (1) 学会総会 13:30~14:00 (2) 福祉心理士会総会
14:00	13:30~14:15 【実行委員会企画】 講演「スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの動向」 奈須智明氏(文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導第一係長)	14:00~14:45 【福祉心理士会×実行委員会企画】 講演「社会福祉士養成課程における教育内容の見直し—実習内容に焦点を当てて—」 道念由紀氏(厚生労働省社会局総務課 社会福祉専門官)
15:00	<u>ZOOM ミーティング</u> 14:30~15:30 研究発表 ※ポスターは全日程で掲示されます。 ※研究発表詳細はホームページに掲載します。	15:00~15:40 【学会大会・研修会企画委員会×実行委員会企画】 報告 「コロナ禍における社会的養護経験者の実情」 司会 井出智博氏(北海道大学大学院 准教授) 報告者 長瀬正子氏(佛教大学 准教授・IFCA) 社会的養護経験者(IFCA ユース)
16:00	15:45~16:45 【福祉心理士会×学会事務局×実行委員会企画】 ワークショップ 「今後の公認心理師における福祉心理士のあり方」 司会 大西 良氏 (福祉心理士会養成教育機関制度事務局長) 話題提供 今村扶美氏 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床心理部臨床心理室室長) 他	15:00~15:40 【実行委員会企画】 パネルディスカッション 「コロナ禍の医療・福祉領域におけるソーシャルワークへの影響と今後の展望」 司会 小松美智子氏(武蔵野大学客員教授) 登壇者 村本ゆう子氏(東京女子医科大学病院) 齋藤 久美子氏(東京都健康長寿医療センター) 他3名
17:00		15:45 閉会挨拶 大会終了